

7 多様な交流の推進と観光の振興

(1) 環日本海諸国をはじめとする国際交流の推進

(2) 国内他地域との交流の推進

(3) 交流基盤の整備促進

(4) 観光の振興

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

国際課（内線：7122）事業実施：交流推進課

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
⑨ 鳥取県河北省 友好提携20 周年記念事業	2,613	0	2,613				2,613	

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県と河北省との友好提携20周年にあたり記念事業を実施する。

2 主な事業内容

（1）20周年友好訪問団の受入

時期、期間 6月頃（想定）4日間程度

人 数 6名程度（副省長など）

そ の 他 訪問団の来県に合わせて、友好提携20周年記念行事を開催。

場 所：中国庭園「燕趙園」

内 容：記念式典、河北省に縁のある方々も招待して昼食会 等

（2）「河北省との交流展」の開催

時期、期間 6月頃（想定）3ヶ月間程度

展 示 場 所 燕趙園 集粹館展示ホール

展 示 内 容 河北省との交流のあゆみ、河北省の文物等

そ の 他 記念式典に併せてオープニングを実施。

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

国 際 課（内線：7108） 事業実施：交流推進課

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
⑨ 第二アリアンサ 鳥取村入植80周年記念事業	4,903	0	4,903				4,903	

事業内容の説明

1 事業の概要

ブラジル国サンパウロ州にある第二アリアンサ鳥取村が入植80周年を迎える。
また、鳥取県出身の明穂梅吉氏がブラジルに単独移住され100周年を迎える。

7月下旬に開催される第二アリアンサ日系文化体育協会主催の記念イベントに参加するために県訪問団を派遣する。

2 主な事業内容

第二アリアンサ鳥取村入植80周年記念訪伯事業

- ・ 日 程：平成18年7月下旬（7日間）
- ・ 訪問者：知事（又は副知事）ほか
- ・ 内 容：80周年記念事業として行われる以下の事業へ参加し、県人会との交流を図る

（第二アリアンサ鳥取村）

- ・ 開拓物故者慰霊法要
- ・ 80周年記念入植祭式典兼鳥取県訪問団歓迎式典
- ・ 敬老会（記念品贈呈）
- ・ 運動会
- ・ 鳥取県訪問団歓迎夕食会（ビデオレター披露）

（サンパウロ）

- ・ 歓迎会
- ・ 行政府訪問

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

男女共同参画推進課（内線：7075）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）第2回環日本海女性指導者交流会開催事業	5,800	0	5,800				5,800	

事業内容の説明

1 事業の概要

韓国江原道をはじめとした環日本海諸地域の女性団体、公務員の代表者と意見交換・交流を行うことにより、男女共同参画社会への意識啓発、情報発信を行うため、関係団体等で組織する実行委員会に開催経費を助成する。

なお、平成17年9月、韓国江原道において「第1回環日本海女性指導者交流会」が開催され、本県からも民間女性団体のリーダー有志10名（相見寿子鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク会長他）が参加した。

2 事業内容等

区分	予算額	内 容
補助金	5,000	(1) 時 期 平成18年11月4日(土) (2) 場 所 米子コンベンションホール国際会議室他 (3) 参加者 韓国江原道、中国吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海州の各日本海諸地域からの参加者約60人。 シンポジウムは、各地域からの参加者の他県内女性団体、一般県民等約300人。 (4) 概 要 基調講演 テーマ：日本における男女共同参画の取組み（仮題） 講 師：県外有識者 パネルディスカッション 環日本海諸地域代表を交えたパネルディスカッション 歓迎晩餐会 (5) その他 「男女共同参画フォーラム（旧よりん彩まつり）」のメイン事業として位置づける。
事務費	800	
計	5,800	

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

国 際 課（内線：7842） 事業実施：交流推進課

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「話してみよう 韓国語」鳥取大会 開催事業	1,085	651	434				1,085	
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>国際理解の推進に高い効果がある外国語学習を支援するため、鳥取県との交流が活発な韓国に関心のある韓国語初級学習者に参加を広く呼びかけ、韓国ドラマの一場面 of 台詞をアレンジして韓国語で発表するなどの工夫を凝らしたコンテストを開催する。</p>								
2 主な事業内容								
開催時期	平成19年1～2月頃							
開催場所	県内							
発表者	スキット部門	高校生の部	8組程度					
	スキット部門	大学・一般の部	8組 "					
	映像表現部門		6組 "					
3 その他								
コンテスト内容								
<スキット部門>								
指定台本から1つを選択、暗記し、2人1組のスキット形式(寸劇)で韓国語の発音や表現力等を競う。								
<映像表現部門>								
指定された韓国ドラマの映像シーンの1つを選択し、登場人物の動きや表情に合った独創的なセリフまたはナレーションを創作し、ステージ上に映し出される映像を背景に、自分が考えた脚本に沿ってアフレコを行い、韓国語の発音や表現力など総合的なパフォーマンスを競う。								

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

国際課（内線：7122） 事業実施：交流推進課

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県・ロシア沿海地方友好推進事業	1,964	3,263	1,299				1,964	

事業内容の説明

1 事業の概要

沿海地方との青少年交流を促進するとともに、全国的にもレベルの高い本県新体操の更なる向上を図るため、これまでに2年間行ってきた青少年新体操交流を継続して行う。

2 主な事業内容

(1) ウラジオストク国際新体操競技会への同行

民間交流団の訪露事前調整及び同行を行う。

実施時期：4月下旬 4泊5日

訪問団：若干名

県内新体操選手（参加希望者、経費は自己負担）若干名、

鳥取県（国際交流員等）

事業内容 新体操競技会参加、合同練習参加、ホームステイ等

(2) ロシア沿海地方青少年新体操交流団の受入

実施時期：7月 7泊8日

訪問団：8名（選手6名、指導者2名）

ウラジオストク市立オリンピック候補生養成青少年スポーツ学校

事業内容：合同練習、演技披露、学校訪問、文化体験、新体操指導者との意見交換、ホームステイ等。

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

国 際 課（内線：7842） 事業実施：交流推進課

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
北東アジア地域国際交流・協力第11回地方政府サミット参加事業	1,814	1,479	335				1,814	
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 中国吉林省で開催予定の「北東アジア地域国際交流・協力第11回地方政府サミット」等へ鳥取県代表団を派遣する。</p> <p>2 事業内容 開催時期 9月頃 開催場所 中国吉林省長春市 参加地域 鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県 派遣人員 5名 9月2～6日開催の「中国吉林省北東アジア投資貿易博覧会」と同時開催予定</p> <p>3 その他 「第5回北東アジア地域地方政府経済協議会」「北東アジア展示商談会」などの関連事業も開催予定。</p> <p><参考>北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの概要 友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、鳥取県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、1994年より各地域持ち回りで開催。 また、サミットの合意内容を具体化するため、関連事業（経済協議会、環境フォーラム、観光促進協議会、特産品展示会、美術作品展等）を実施してきた。</p> <p>これまでの主な成果 （1）幅広い分野での多地域間交流の推進 ・経済、観光、青少年、文化芸術、学術・教育等、多様な分野で地域間交流を実現</p> <p>（2）大規模イベント等への参加協力 ・1997年 山陰夢みなと博覧会（鳥取県） ・1997年 極東国際博覧会（ロシア沿海地方） ・1999年 江原道国際観光博覧会（韓国江原道） ・2000年 東アジア地方政府観光フォーラム【EATOF】（韓国江原道） ・2002年 国民文化祭（鳥取県） ・2004年 東アジア地方政府観光フォーラム【EATOF】（鳥取県） ・2005年 全国生涯学習フェスティバル（鳥取県）</p>								

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

国 際 課（内線：7122） 事業実施：交流推進課

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾交流推進事業	3,026	1,562	1,464				3,026	

事業内容の説明

1 事業の概要

平成18年1月、知事、県議会議長をはじめとする訪台団が台中県を訪問し、今後鳥取県と台中県が幅広い分野で交流していくことを確認した。

平成18年度は、台湾台中県との青少年同士の交流と相互理解を促進させるため、本県の中学生からなるサマースクール団等の同県への派遣及び本県において台湾との交流に係る講演会を開催するなど、台湾との交流を更に推進していく。

2 主な事業内容

（1）サマースクール団派遣

ア) 時 期 8月頃 6泊7日（夏休み期間中）

イ) 人 数 中学生15名ほか 計19名

ウ) 内 容 台中県内中学校訪問、台中県政府表敬、台中県内視察など

（2）交流事業協議団の派遣

ア) 時 期 5月頃

イ) 人 数 課長ほか 計4名

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化芸術課（内線：7133）

事業実施：文化政策課

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
日韓ヤングミュージックフェスティバル事業	3,790	5,296	1,506				3,790	

事業内容の説明

1 事業の概要

本県と韓国江原道の高校生・大学生とによる軽音楽（ロック、ジャズ、フォーク等）の祭典として開催し、演奏技術の向上を図るとともに、軽音楽を通じた文化交流、相互理解を促進する。（実行委員会への助成）

2 平成18年度事業費

（1）開催期間 平成18年7月

（2）開催場所 倉吉未来中心ほか

（3）主 催 日韓ヤングミュージックフェスティバル実行委員会
（県内の軽音楽関係者、マスコミ関係者、行政等で構成）

（4）共 催 鳥取県

（5）内 容

区 分	予 算 額	内 容
日韓ヤングミュージックフェスティバル事業補助金	3,790	<p>日韓ヤングミュージックフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内高校生・大学生バンドの演奏及び優秀バンドの選考 ・江原道高校生バンドの演奏 ・県内出身プロ等による指導・助言 ・県内ベテランバンドの演奏 <p>日韓高校生交流会（交流キャンプ）</p> <p>フェスティバル参加の有無を問わず、広く県内高校生等を対象として県出身プロ演奏家や県内ベテランバンドを指導者に音楽をテーマとした交流キャンプを実施。</p>

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化芸術課（内線：7325）

事業実施：文化政策課

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																											
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																												
国際文化交流事業	12,537	11,452	1,085				12,537																												
事業内容の説明																																			
1 事業の概要																																			
<p>韓国江原道をはじめとする環日本海諸国と、青少年及び県内文化団体の芸術文化交流を行うことで、鳥取県の文化芸術を発信するとともに、相互理解と参加団体の意欲及び技術の向上を図る。</p>																																			
2 平成18年度事業費																																			
区分	予算額	内 容																																	
文化芸術国際交流支援事業補助金	3,221	<p>鳥取県文化団体連合会の加盟団体が、韓国江原道の文化団体等と交流を行う事業に対して助成し、両地域の芸術・文化を通じた国際理解及び文化交流を促進する。（補助率1/2）</p> <table border="1"> <tr> <td>第6回鳥取県・韓国江原道交流美術展</td> <td>実施主体</td> <td>鳥取県美術家協会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開催地</td> <td>韓国江原道</td> </tr> <tr> <td></td> <td>派遣人数</td> <td>5名程度</td> </tr> <tr> <td>第3回鳥取県・韓国江原道写真交流事業</td> <td>実施主体</td> <td>鳥取県写真家連盟</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開催地</td> <td>韓国江原道</td> </tr> <tr> <td></td> <td>派遣人数</td> <td>25名程度</td> </tr> <tr> <td>第3回鳥取県・韓国江原道合唱交流事業</td> <td>実施主体</td> <td>鳥取県合唱連盟</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開催地</td> <td>韓国江原道</td> </tr> <tr> <td></td> <td>派遣人数</td> <td>30名程度</td> </tr> </table> <p>開催時期は今後調整</p>							第6回鳥取県・韓国江原道交流美術展	実施主体	鳥取県美術家協会		開催地	韓国江原道		派遣人数	5名程度	第3回鳥取県・韓国江原道写真交流事業	実施主体	鳥取県写真家連盟		開催地	韓国江原道		派遣人数	25名程度	第3回鳥取県・韓国江原道合唱交流事業	実施主体	鳥取県合唱連盟		開催地	韓国江原道		派遣人数	30名程度
第6回鳥取県・韓国江原道交流美術展	実施主体	鳥取県美術家協会																																	
	開催地	韓国江原道																																	
	派遣人数	5名程度																																	
第3回鳥取県・韓国江原道写真交流事業	実施主体	鳥取県写真家連盟																																	
	開催地	韓国江原道																																	
	派遣人数	25名程度																																	
第3回鳥取県・韓国江原道合唱交流事業	実施主体	鳥取県合唱連盟																																	
	開催地	韓国江原道																																	
	派遣人数	30名程度																																	
江陵国際青少年芸術祝典事業	4,080	<p>韓国江原道で開催される「江陵国際青少年芸術祝典」に本県の青少年を派遣し、伝統芸能等を披露するとともに各地域の青少年と交流し相互理解を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>7月27日～30日</td> </tr> <tr> <td>開催地</td> <td>韓国江原道江陵市鏡浦海水浴場</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>世界10カ国20都市の青少年</td> </tr> <tr> <td>派遣人員</td> <td>県内高校の伝統芸能活動クラブ20名</td> </tr> </table>							開催時期	7月27日～30日	開催地	韓国江原道江陵市鏡浦海水浴場	参加者	世界10カ国20都市の青少年	派遣人員	県内高校の伝統芸能活動クラブ20名																			
開催時期	7月27日～30日																																		
開催地	韓国江原道江陵市鏡浦海水浴場																																		
参加者	世界10カ国20都市の青少年																																		
派遣人員	県内高校の伝統芸能活動クラブ20名																																		
台中大甲媽祖国際観光文化フェスティバル事業	2,707	<p>台湾台中県で開催される「台中大甲媽祖国際観光文化フェスティバル」に本県の青少年を派遣し、伝統芸能等の披露を通じた情報発信と相互理解を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>3月下旬～5月上旬（派遣時期：4月中旬）</td> </tr> <tr> <td>開催地</td> <td>台湾台中県各地</td> </tr> <tr> <td>派遣人員</td> <td>智頭農林高校郷土芸能部11名</td> </tr> </table>							開催時期	3月下旬～5月上旬（派遣時期：4月中旬）	開催地	台湾台中県各地	派遣人員	智頭農林高校郷土芸能部11名																					
開催時期	3月下旬～5月上旬（派遣時期：4月中旬）																																		
開催地	台湾台中県各地																																		
派遣人員	智頭農林高校郷土芸能部11名																																		
環日本海圏美術作品展示会	2,529	<p>第11回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットと併催される第9回環日本海5地域美術作品展示会に作品を出展するとともに、代表を派遣し、各地域の美術家との交流を促進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>18年度サミット開催時</td> </tr> <tr> <td>開催地</td> <td>中国吉林省（詳細未定）</td> </tr> <tr> <td>参加国</td> <td>鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海地方</td> </tr> <tr> <td>出品数</td> <td>15作品予定</td> </tr> </table>							開催時期	18年度サミット開催時	開催地	中国吉林省（詳細未定）	参加国	鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海地方	出品数	15作品予定																			
開催時期	18年度サミット開催時																																		
開催地	中国吉林省（詳細未定）																																		
参加国	鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海地方																																		
出品数	15作品予定																																		

平成18年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

環境政策課（内線：7205） 事業実施：環境立県推進課

4目 環境保全費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県・江原道子ども環境交流事業	2,917	2,652	265				2,917	

事業内容の説明

1 目的

鳥取県と韓国江原道の子どもたち（小学生）が、活動発表・意見交換会をはじめとした環境保全及び環境学習の交流を行う。

2 事業の概要

- (1)開催時期 平成18年8月頃・3泊4日(予定)
- (2)開催場所 韓国江原道
- (3)概 要 「日韓子ども環境サミット」、交流会など
・発表者 各々3グループ(15名)
- (4)関連交流 小学校訪問、ホームステイ

平成18年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

衛生環境研究所（0858-35-5411）

6目 衛生環境研究所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
黄砂に関する江原道との共同研究	1,423	1,999	576				1,423	

事業内容の説明

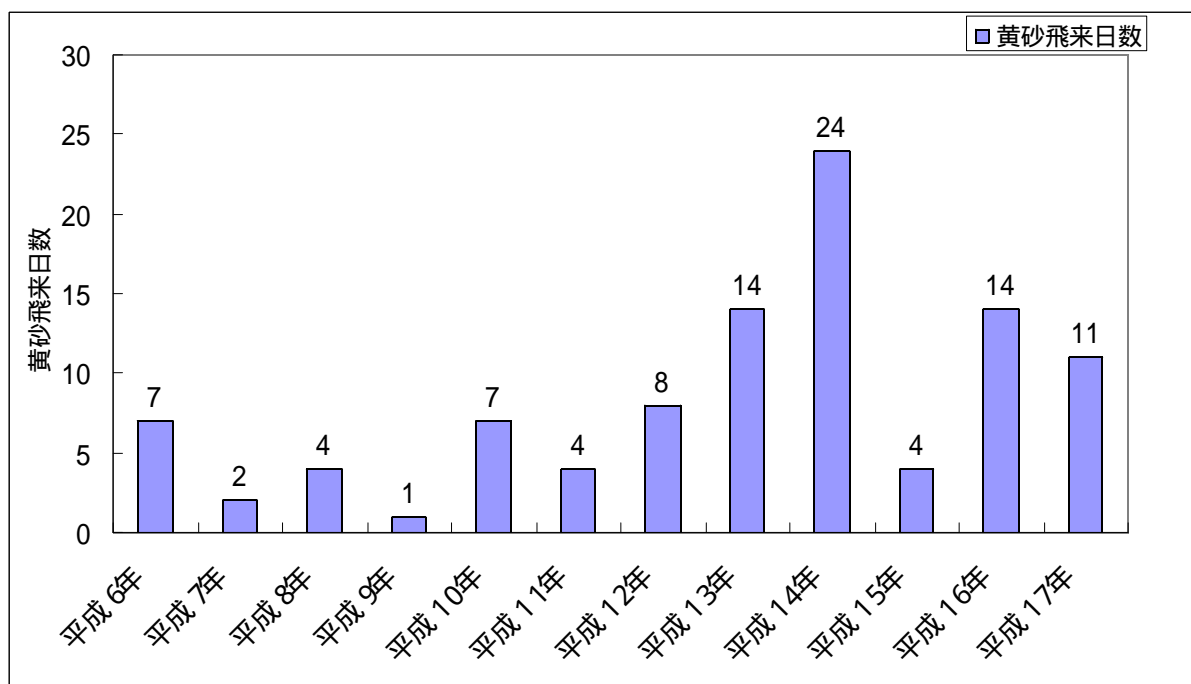
1 目的

韓国江原道保健環境研究院、鳥取大学と共同で、黄砂の発生源や成分の調査を行うとともに、黄砂による小動物への生体影響を調査し、黄砂による人の健康や環境への影響防止対策につなげる。

2 事業の概要

- （1）鳥取県に飛来する黄砂の発生場所と飛来経路を推定する。
- （2）飛来黄砂の成分を分析して、汚染物質の飛来実態を把握する。
- （3）鳥取県と江原道に飛来する黄砂の粒子の大きさ、濃度や成分を比較する。
- （4）小動物を用いた実験により、人への健康影響を評価する。

（参考） 鳥取市での黄砂飛来日数の経年推移



平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

経済交流課（内線：7538） 事業実施：産業開発課

4目 貿易振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県内企業海外チャレンジ支援事業	14,000	5,289	8,711				14,000	

事業内容の説明

1 事業の概要

輸出入の取引経験が乏しく、貿易実務を行える人材の不足している県内の中小企業にとっては、取引初期段階の市場調査、投資環境調査、サンプル輸入等は経済的リスクが大きいとともに海外市場情報が不足。

このため、貿易初期段階の経費助成、効果的な商談展示会の開催、海外市場情報の提供により企業支援を行う。

2 事業内容

(1) 県内企業海外展開支援事業補助金 7,000千円

サンプル輸入、海外見本市参加等に要する経費を助成

改正点	〔	補助限度額をアップ	500千円	1,000千円
		予算額アップ	3,500千円	7,000千円

(2) 海外市場調査事業 2,000千円

大連事務所の廃止に伴い、中国を中心に海外現地調査を行い、海外の企業情報や交易可能性のある商品・分野等の情報を産業振興機構海外支援部が中心となって収集し、県内企業とのマッチングに活用する。

(3) 商談会開催事業 5,000千円

商談会・展示会への出展を産業振興機構が企画。関連企業がまとまって出展し、効果の高い効率的な商談を実施する。

（開催候補地と分野）

台北、大連、香港、北米等 / 食品・食品加工技術、環境技術等

7款 商工費

1項 商業費

経済交流課（内線：7538） 事業実施：産業開発課

4目 貿易振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
貿易支援体制整備事業	47,215	22,979	24,236				47,215	

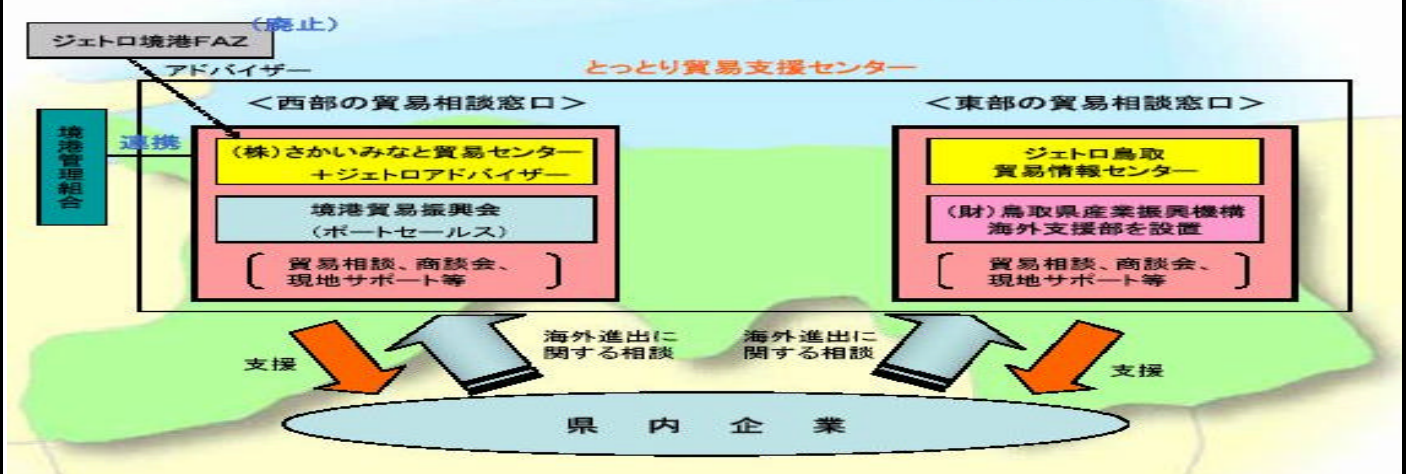
事業内容の説明

1 事業の概要

平成18年3月の大連事務所廃止に伴い、県内貿易支援体制を充実し、県内企業の海外展開を支援する。

2 内 容

海外進出への実践的な支援体制の構築(案)



支援体制のポイント

貿易相談窓口のワンストップ化

とっとり貿易支援センター（仮称）を東部（産業振興機構内）・西部（夢みなとタワー内）に設置し、利用者にとって分かりやすい体制を構築

支援体制の集合化

とっとり貿易支援センター内に、貿易支援機関を集め、支援機関同士の連携を強化

ジェットロ鳥取貿易情報センター 機構内に移転

ジェットロ境港FAZ支援センター FAZ法の廃止に伴い、支援センターを廃止し、(株)さかいみなと貿易センターにジェットロアドバイザーを配置

産業振興機構の海外支援部の新設

- ・体制 4名
- ・主な業務

貿易相談（貿易情報、貿易実務指導等）の東部地域の窓口業務

海外での商談会・展示会への参加、参加企業の支援

<参考>

組織名	業務内容	予算額(千円)
鳥取県産業振興機構 海外支援部	商談会・展示会、海外展開支援補助金、貿易相談、情報発信	28,891
ジェットロ鳥取貿易情報センター	H18年ロサンゼルスでの鳥取県産品商談会を実施。ジェットロネットワークによる情報提供・相談、貿易情報相談	10,347
境港貿易振興会	ポートセールス活動	5,577
(株)さかいみなと貿易センター	FAZ倉庫の管理運営、貿易相談	-
ジェットロ相談窓口	貿易相談	2,400

*H17年度大連事務所運営事業費 26,836千円

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

経済交流課（内線：7538） 事業実施：産業開発課

4目 貿易振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット関連事業	4,203	4,435	232				4,203	

事業内容の説明

1 事業の概要

中国吉林省で開催予定の北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットに合わせて開催される「第5回北東アジア地域地方政府経済協議会」に参加し、経済交流・協力に関する意見交換を行い、より実質的な経済交流を促進させるための提言を行う。

また具体的な経済交流の場として、経済協議会で合意された「北東アジア展示商談会（旧：特産品展示会）」に参加し県内産品の輸出に関する商談会を行う。

2 事業内容

【第5回北東アジア地域地方政府経済協議会】

開催時期：2006年度秋（月日未定）

場 所：中国吉林省長春市

参加地域：鳥取県、吉林省、江原道、ロシア沿海地方、モンゴル中央県

会議内容：経済情報の交換・技術交流の促進に関すること

投資・貿易活動支援に関すること 等

企業等経済界からの参加も想定

【北東アジア展示商談会（旧：特産品展示商談会）】

開催時期：サミットと同時期に開催予定

場 所：サミット開催都市に同じ

内 容：サミット参加地域の特産品を展示広報し、貿易に繋げるための商談会を実施する

* 9月2 - 6日開催予定の「中国吉林省北東アジア投資貿易博覧会」に併合される可能性あり

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

経済交流課（内線：7538） 事業実施：産業開発課

4目 貿易振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環日本海経済交流 推進事業	5,359	5,201	158				5,359	

事業内容の説明

1 事業内容

(1) 中国吉林省経済交流団の派遣、四県協議会の開催

吉林省経済交流団の派遣

県内企業の吉林省でのビジネスチャンスを創出するため、吉林省で開催される第2回中国吉林省北東アジア投資貿易博覧会に参加する。

時 期：平成18年9月2日～6日

場 所：吉林省長春市

参加企業：県内企業3～5社程度の参加を想定

*北東アジア地域国際交流・協力地方サミットに合わせて開催予定の「北東アジア展示商談会（旧特産品展示商談会）」を併合開催する可能性あり

吉林省との経済交流を考える四県協議会開催

鳥取、秋田、新潟、島根県で吉林省との経済を考える四県協議会を開催し、経済交流の現状と今後の取り組みについて協議し、共同で取組める事業について検討を行う。

(2) 韓国江原道企業との情報交換会の開催

江原道企業との情報交換会を実施し、相互理解を進めることにより、今後のビジネスチャンス発掘に役立てる。

時 期：「中国吉林省北東アジア投資貿易博覧会」または江原道経済訪問団受入れに併せて実施

場 所：吉林省長春市または鳥取県内

平成18年度一般会計当初予算説明資料

6 款 農林水産業費

5 項 水産業費

水産課（内線：7318）

2 目 水産業振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
日韓水産科学技術 協力推進事業	1,632	1,648	16				1,632	

事業内容の説明

1 事業の目的

日本海水産資源に対する日韓両国の共通認識を醸成するため、本県と韓国江原道間で日韓水産セミナーを開催し、学術・研究分野、水産行政分野、生産・流通分野などでの研究事例報告や漁業者交流会による情報交換を図るとともに、水産技術者の派遣による相互交流を行う。

2 事業の内容

（単位：千円）

事業内容	事業期間	事業主体	事業費
日韓水産セミナー ・研究者、技術者による課題研究発表、漁業者交流会（意見交換会） ・日韓で隔年相互開催（H18は江原道開催） ・開催側が経費負担	H 8 ~	県	1,632
技術者の交互交流 ・水産技術職員の相互派遣 ・H18は鳥取県から江原道へ派遣 ・受入側が経費負担	H13 ~		

- （参考）・平成12年9月に両県道間で相互の友好と日本海水産資源の持続的な利用に貢献することを目的とした「水産科学技術、学術に関する覚書」を締結
・本年度の内容は、平成17年度の計画（交流中断により未実施）と同一のものである。

平成18年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

01項 教育総務費

教育総務課(内線:7506)

02目 事務局費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
教育国際交流推進事業	7,196	11,831	4,635				7,196	

事業内容の説明

1 事業の概要

関係諸国の地方政府等との教育分野での交流を推進する。

2 事業の内容

(1) 韓国江原道教育厅との交流事業

区分	予算額	事業内容
教育長の訪韓	1,083	教育長等が江原道教育厅を訪問し、学校間交流や児童生徒・教員の交流など各種交流事業について意見交換を行うとともに、美術作品交流展を開催する。
実務者協議団の受入	410	江原道教育厅からの実務者レベルの協議団を受け入れ、次年度交流事業の確認等を行う。

(2) ブラジルとの交流事業

区分	予算額	事業内容
日本語指導員派遣	5,703	第二アリアンサ鳥取村へ指導者(教員)を派遣 活動内容 ・日本語教育への支援 ・日本文化の継承や鳥取県との交流

平成18年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

2目 体育振興費

体育保健課（内線：7527）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポ - ツ国際交流員 招致事業	6,596	6,847	251			(諸収入) 41	6,555	
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要</p> <p>特定スポーツ種目の活動を行うスポーツ国際交流員を招致し、スポーツを通じた国際交流と県内スポーツの振興を図る。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>【招致希望交流員】</p> <p>招致国：韓国</p> <p>招致人数：1名</p> <p>競技種目：ホッケー</p> <p>【事業概要】</p> <p>配置場所：県スポーツセンター</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の指導 ・学校運動部活動の指導 ・その他スポーツ国際交流に関する業務・研修等 <p>【所要経費】</p> <p>スポーツ国際交流員人件費 4,348千円</p> <p>スポーツ国際交流員活動費等 2,248千円</p>								

平成18年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

2目 体育振興費

全国スポーツ・レクリエーション祭準備室(内線:7924)

事業実施:全国スポーツ・レクリエーション祭推進室

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第19回全国スポーツ・レクリエーション祭開催事業	452,470	87,519	364,951	130,475		(諸収入) 15,014	306,981	

事業内容の説明

1 事業の概要

第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」を円滑に開催するため、その事業を行う第19回全国スポーツ・レクリエーション祭鳥取県実行委員会に補助等を行う。

2 補助対象事業の内容

区分	事業内容
総務事業	・実行委員会、各専門委員会の開催 ・県外から来県する招待者等の招へい
式典事業	・開会式、特別行事、シンポジウム、閉会行事の開催
種目交流事業	・会場地市町村、種目団体への補助金交付 ・日韓スポーツ交流事業の韓国選手団の受け入れ
広報事業	・屋外広告物の設置、新聞広告等を利用した広報 ・100日前イベント等の開催 ・各種広報物品の作成 ・祭典記録報告書、ガイドブックの作成
宿泊輸送安全事業	・選手等のバス輸送 ・救護所の設置 ・宿泊所、昼食提供業者への食品衛生の指導 ・会場周辺の警備、清掃 ・空港、主要駅への案内所設置
ボランティアセンター設置事業	・ボランティアセンター設置

【祭典の概要】

(1) 会期中

	東部会場 (布勢総合運動公園)	中部会場 (倉吉未来中心)	西部会場 (米子C・C)
10/21(土)	開会式(県民体育館)	(配信)	(配信)
	特別行事	特別行事	特別行事
10/22(日)	種目別大会 都道府県代表参加種目(18)		
10/23(月)	フリー参加種目(7)		
	交歓の夕べ(鳥取市)		
10/24(火)	祭典旗引継式(鳥取市)		

(2) シンポジウム(祭典1カ月前を予定:9月24日(日))

(3) 協賛事業(市町村や種目団体が協賛して実施:4月1日~10月24日)

(4) 参加人数

主催事業(会期中)		協賛事業	
総合開会式	7,200人	実施期間 H18.4.1~10.24 実施予定事業 約200事業	
特別行事	50,000人		
種目別大会	15,000人		
シンポジウム	1,500人		
閉会行事	1,000人		
合計	延べ約75,000人	延べ200,000人	

(うち県外10,000人)

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

4 項 市町村振興費

国内交流推進室（内線：7595）

事業実施：交流推進課

2 目 自治振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新） 赤とんぼの母「碧川かた」顕彰事業	391	0	391				391	

事業内容の説明

1 事業の概要

三木露風（作詞家、代表作「赤とんぼ」）の母「碧川かた」に関する資料展を開催し、「碧川かた」に関する県民の理解を深めるとともに、東京都三鷹市、兵庫県たつの市との交流を促進する。

< 資料展の概要 >

区分	内 容
テーマ	「碧川かた、赤とんぼの母としての素顔」
日時（予定）	平成18年7月下旬（開催期間：9日間）
場 所	未定（鳥取市東町にある碧川かたの出生地、金田邸等）
主な展示内容	・碧川かたが露風に宛てた手紙等のパネル展示 ・三鷹市との交流の紹介 ・たつの市とのつながりの紹介

2 平成18年度事業費 391千円

（内訳）展示関係費 300千円

資料調査・収集経費 91千円

< 参考 >

「碧川かた」は、鳥取藩池田家家老の和田邦之助の二女として、鳥取市東町に生まれた。龍野の三木家に嫁ぎ、露風を産んだことから「赤とんぼの母」と呼ばれている。その後、米子出身の碧川企救男と再婚し、大正から昭和にかけて婦人参政権運動を展開した女性。

「三木露風」は、たつの市に生まれ、晩年を三鷹市で過ごした。三鷹市と鳥取市は「らっきょうの漬け方講習会」の開催やイベント参加を通して交流を行っている。

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
全国獅子舞フェスティバル開催支援事業	1,950	0	1,950				1,950	

事業内容の説明

1 事業の概要

平成18年5月（山陰デスティネーションキャンペーン（鳥取県・島根県・JRグループ6社の共同事業）の期間中）に、鳥取市で開催される全国獅子舞フェスティバルの開催を支援し、観光イベントとして観光客の集客を図るとともに、鳥取県の伝統芸能である「麒麟獅子舞」を全国にPRする。

2 平成18年度事業費

(1) 事業費

補助金 1,550千円 事務費 400千円

(2) 事業の内容

開催日	平成18年5月27日（土）
会場	鳥取県立県民文化会館 フリースペース等
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞による市中パレード ・鼎談「麒麟獅子と鳥取県の歴史・文化」 ・麒麟獅子舞及び全国の獅子舞披露 ・麒麟獅子舞の歴史を紹介するパネル等の展示
主催	全国獅子舞フェスティバル実行委員会 （会長：青木齊 覚寺麒麟獅子舞保存会代表） 社団法人全日本郷土芸能協会
全体経費	6,000千円（予定）

(3) 支援内容

- ・補助対象者 全国獅子舞フェスティバル実行委員会
- ・補助率 1/3（限度額1,550千円）
（補助金額については鳥取市等の補助額を上限とする。）

平成18年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

2目 体育振興費

体育保健課（内線：7527）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
○新都道府県対抗女子 ・男子駅伝支援事業	1,600	0	1,600				1,600	

事業内容の説明

1 事業の概要

県民のスポーツへの関心、意欲を高めるとともに、鳥取県を全国に情報発信するため、多くの国民が注目する都道府県対抗女子・男子駅伝に出場する鳥取県チームの選手強化費の一部を助成する。

2 事業の内容

区分	予算額	事業内容
都道府県対抗女子・男子 駅伝支援事業費補助金	1,600	鳥取陸上競技協会が実施する選手強化事業の一部を助成する。 ・代表候補選手の強化合宿 ・県外大会への派遣

【大会の概要】

	女子	男子
大会名	全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
主旨	47都道府県の参加を得て、わが国陸上競技の中・長距離選手の普及・強化育成を目的とする。	
開催時期	毎年1月中旬	毎年1月下旬
開催地	京都市	広島市
コース	9区間、42.195km	7区間、48km
鳥取県チーム の過去の成績	第19回（2001年） 17位 第20回（2002年） 29位 第21回（2003年） 24位 第22回（2004年） 35位 第23回（2005年） 33位 第24回（2006年） 42位 過去最高順位 12位（1995年）	第6回（2001年） 38位 第7回（2002年） 18位 第8回（2003年） 23位 第9回（2004年） 28位 第10回（2005年） 40位 第11回（2006年） 44位 過去最高順位 12位（1999年）

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交通政策課（内線：7100）

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
余部橋りょう架替支援事業	34,100	0	34,100				34,100	

（平成17年度は11月補正で予算計上）

事業内容の説明

1 事業の概要

山陰本線余部鉄橋（兵庫県香美町香住区地内）の定時性及び安全性の確保を図るため、JR西日本が行う橋りょう架替事業に対し、兵庫県と共同で所要の支援を行う。併せて、今後の鳥取～城崎温泉間の高速化推進と広域観光の連携強化に資するものである

2 事業内容等

- ・事業主体 JR西日本
- ・橋りょう形式 橋長 L = 307m 橋脚高 H = 41.5m
エクストラードズドPCラーメン橋
- ・総事業費 30億円
- ・事業期間 平成17年度～平成22年度（予定）

（平成18年度所要経費）

区 分	予 算 額	内 容
実施設計費 及び工事費負担金	34,100	・橋りょう詳細設計 ・工事費

参 考

事業費負担スキーム

総事業費 30億円		
JR	地方自治体 24億円（80%） （鳥取：兵庫 = 2：8）	
6億円 （20%）	鳥取県側 4.8億円 （16%）	兵庫県側 19.2億円 （64%）

鳥取県内の 費用負担	鳥取県	16% × 2 / 3	・H18～H22年度に、進捗に応じて支払う。 ・H17年度までに実施した調査設計費負担金の支払分を含む。 ・最終年度に、基本協定（H18年3月締結予定）に基づく負担割合に応じて精算する。
	3.2億円		
	市町村	16% × 1 / 3	
	1.6億円		

事業スケジュール

- 平成17年度 実施設計着手（～18年度）
- 平成18年度中 工事着工
- 平成22年度 余部橋りょう架替工事完成予定（切替に必要な運休期間：約2週間）

平成18年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

2 項 道路橋りょう費

1 目 道路橋りょう総務費

道路企画課（内線：7351）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 魅力あるインターチェンジ周辺整備支援事業	500	0	500				500	

事業内容の説明

1 事業の背景及び目的

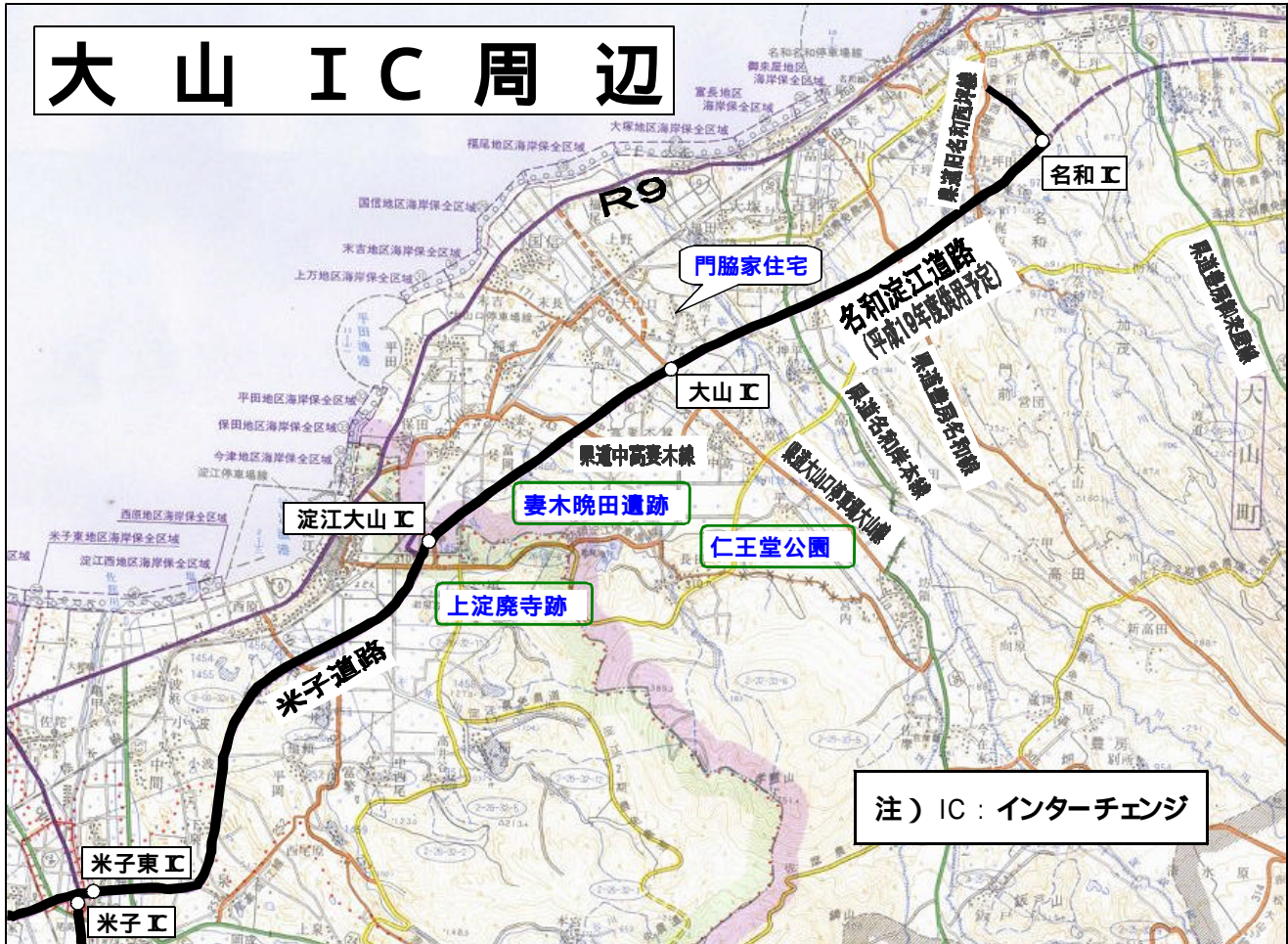
- ・鳥取県内の高速道路整備は、将来は淀江から鳥取・智頭を經由して中国縦貫自動車道まで無料の高速道路がつながることとなる。
- ・鳥取県の観光の目玉である大山周辺にある観光地等へ分かりやすく案内することにより、多くの人が山陰道を利用して周遊することが予想される。
- ・順次開通していく山陰道について、大山町が中心に設立する「山陰道大山周辺利用促進協議会」（仮称）が行う、観光地等への案内方法検討に要する経費に対し助成を行う。

2 事業の内容

大山インターチェンジから主要拠点への動線把握、問題点抽出検討（補助金）

3 所要経費

500千円（「山陰道大山周辺利用促進協議会」（仮称）による総事業費 1,000千円の1/2を助成）



平成18年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費
 4項 港湾費
 4目 空港費

空港港湾課（内線7405）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子空港滑走路 2,500 m化事業	73,686	24,277	49,409	0	1,000	0	72,686	

事業内容の説明

米子空港滑走路延長(2,500 m化)事業は、平成18年1月に環境アセスメントの手続きが終了し、事業主体である国土交通省において平成17年度中の現地工事着手に向け準備が進められている。

県としては、必要な空港周辺整備について関係する米子市、境港市、両市の地元等と調整しながら、県が取り組むべき事業について工事・調査・設計を行う。

[主な内容]

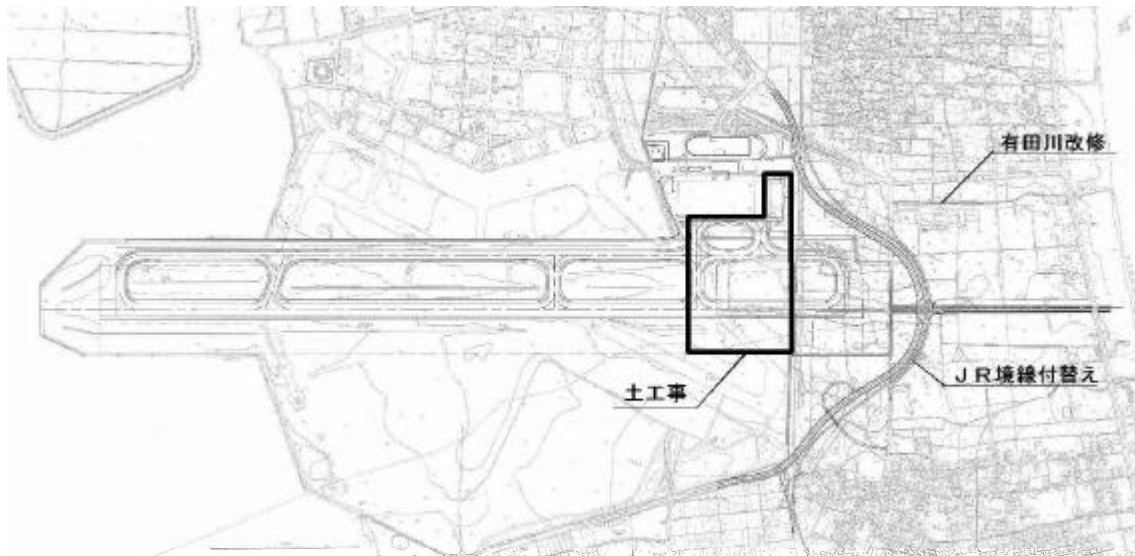
- ・防音堤（本工事及び立木補償）
- ・中浜地区連絡道路（調査及び設計）

<参考>

直轄事業（平成18年度） 2,510,000千円（県負担金 451,800千円）
 （土工事、JR境線付替、有田川改修、用地買収、物件補償）

[スケジュール]

- 土工事 H17～20
- 有田川改修 H17～18
- JR境線移設 H18～19
- 航空保安施設 H19～20
- 平成20年度 2,500 m滑走路供用開始（予定）



平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光課（内線：7237）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新） 「ディスカバーウエスト」中国5県連携 観光振興事業	5,000	0	5,000				5,000	
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要</p> <p>中国5県による広域的な取組をJR西日本と連携して実施する協議会の設立と当該協議会による誘客対策を実施し、中国5県が一体となって地域ブランドを確立、首都圏・中京圏などからの鉄道を活用した誘客対策を強化する。</p> <p>〔 単独での取組では費用が莫大となる首都圏誘客対策を、中国5県が、相互に魅力を補完し、相乗効果と規模の経済性を発揮しながら売り込むことが可能 旅行商品単価に占める割合の大きい交通費について、JRの参画による具体的な戦略展開を働きかけることが可能 〕</p> <p>2 平成18年度事業費 5,000千円（負担金） 中国5県・JR西日本同額負担予定</p> <p>3 主な取組</p> <p>現地研修会の定期的開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏・中京圏の旅行会社の商品造成担当者を直接現地に招へいして具体的に説明 ・瀬戸内（首都圏2回、中京圏2回）、山陰（首都圏1回、中京圏1回）の計6回/年 ・1回当たりの招聘人数は、30～35人 <p>JR所有広告媒体による宣伝展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅ポスター、車内吊りポスター等 <p>〔参加に当たってのJRへの条件〕</p> <p>首都圏・中京圏などに対する費用対効果の高い情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地研修会（旅行会社関係者の招聘）開催経費：単県＞協議会 ・JR所有広告媒体の無償提供 <p>JR利用による観光入込客数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：対前年比2割増 <p>（ただし、県として、他県と同等又はそれ以上の地域魅力向上・観光素材提案が前提）</p>								

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光課（内線：7238）

1目 観光費

（単位：千円）

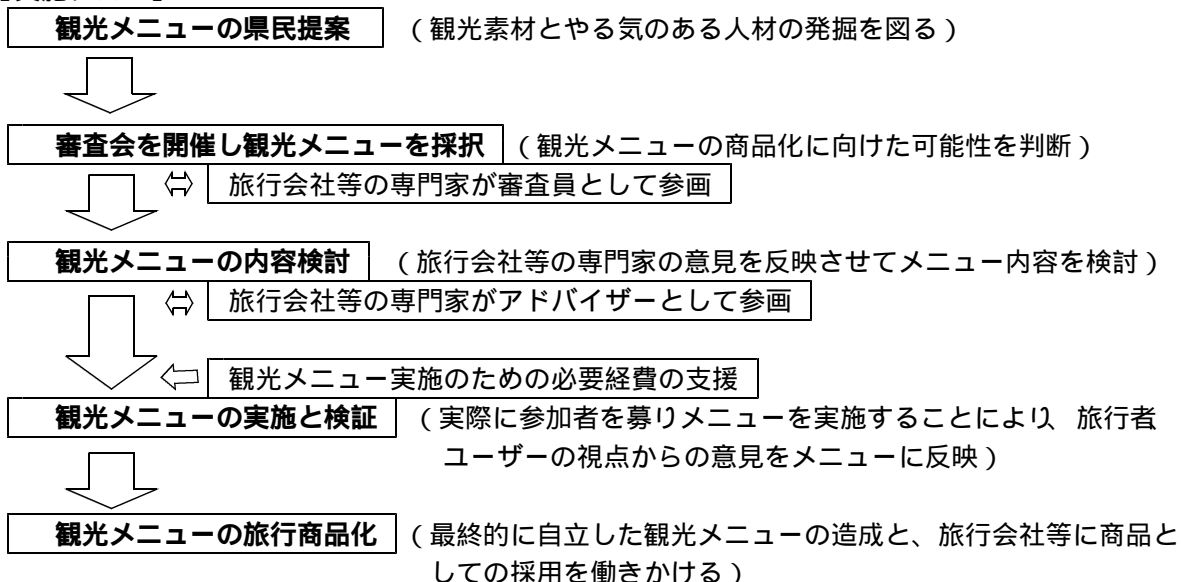
事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新） 観光メニューオーダー イション事業	5,344	0	5,344				5,344	

事業内容の説明

1 事業の概要

県内に点在する多くの観光素材を活用した観光メニューを県民や団体から提案してもらい、それを旅のプロとともに磨き上げながら支援することにより、観光事業化、旅行商品化を促進する。

【実施フロー】



2 平成18年度事業費

5,344千円

観光メニューを造成するための補助制度（5,000千円）

名称：観光メニューづくり支援金（仮称）

補助金の上限：1,000千円

補助率：1/2

補助対象：個人、団体（民間）

旅行商品化のための事業内容検討会の開催（344千円）

上記補助制度を活用する個人、団体（民間）に対して、観光メニューの造成段階から旅行会社等による旅行商品化の相談やアドバイスを行う。

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光課（内線：7238）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新） 体験型教育旅行（修学旅行）誘致プロジェクト	826	0	826				826	

事業内容の説明

1 事業の概要

最近の修学旅行・教育旅行が見学型から農山漁村の体験などに代表される体験型に移行しつつある現状を踏まえ、本県の豊かな自然と文化・風土等を活用、PRし、教育旅行・修学旅行の誘致を図る。

2 平成18年度事業費

826千円

先進地視察、地域関係者の勉強会の実施（237千円）

体験型観光の先進地を視察するとともに、受け入れ可能な地域の関係者の勉強会を実施する。

例）農業体験…先進地視察、受け入れ先農家の勉強会、民泊の素地づくりなど。

地元の文化・特産品を活かした体験プログラムの構築を目指す。

モニターツアーの実施（274千円）

教育・旅行関係者を招致し、受け入れ施設の点検、意見交換、アンケート調査を実施するとともに、受け入れ側の意識醸成を行う。

体験プログラム（教育旅行用）紹介パンフレットの作成（315千円）

県外の教育委員会や学校関係者、修学旅行取り扱い旅行会社等へのPR活動を行なうため、受け入れ施設を紹介したパンフレットを作成する。

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光課（内線：7238）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 「まんが王国とっとり」PR事業	2,672	0	2,672				2,672	

事業内容の説明

1 事業の概要

本県出身のまんが家の作品を、鳥取県の持つ雰囲気やイメージを伝える文化資源ととらえ、まんがによる鳥取県のPRを行うことにより、新しい切り口からの鳥取県のイメージアップと観光客誘致を図る。

2 平成18年度事業費 2,672千円

「コナンのふるさとまんが王国とっとりイラストコンクール（仮称）」の実施（1,296千円）

「名探偵コナン」切手が4月3日に発行されることを記念して、はがきによるイラストコンクールを行う。

また、「名探偵コナン」切手の発行日には、鳥取県のマスコットキャラクター「トリピー」や鳥取ゆかりのキャラクターを大集合させて、切手贈呈式（記念式典）を日本郵政公社と連携して実施し、イラストコンクールのPRと鳥取県のまんがによるイメージアップを華やかに行なう。

〔実施イメージ〕

テーマ 鳥取県を題材にした一コマまんが

募集内容 テーマに沿った一コマまんが。スタイルは自由（官製はがきを使用）
ジュニア部門（中学生以下）と一般部門の2部門

募集期間 H18年4月3日～5月31日

まんが「ロケ地」マップ（1,250千円）

鳥取県出身まんが家やその作品、鳥取県が舞台となった作品を地図上に記載したマップと、まんがに登場した具体的な地域の周辺の観光案内を記載したまんが「ロケ地」マップを作成し、観光客や県外での物産展等で配布する。

作成部数 5,000部

配布場所

関係観光地（鳥取、倉吉、米子、境港）の観光案内所、観光施設等
物産展等の県外における鳥取県PR時の配布

県内書店への県関係まんがコーナー設置（126千円）

鳥取県出身まんがの作品や鳥取県が舞台となった作品を集めたコーナーを県内書店に設置する。
設置箇所（案） 県内書店（20店舗程度）

平成18年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9767）

15目 総合事務所費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
⑨ 大山中海旅の窓口(ランドオペレーション)創設事業	3,266	0	3,266				3,266	

事業内容の説明

1 事業の概要

大山中海圏域の観光魅力を発掘し、地域ならではの観光商品づくりや、旅行者へのきめ細かい情報・サービス提供などを総合的にコーディネートする“旅の窓口”(ランドオペレーションセンター)の創設を支援し、民間主導による自立発展的な観光地づくりを進める。

事業主体 NPO法人大山中海観光推進機構(NPO大山王国)

総事業費 9,800千円

所要額 3,266千円(総事業費の3分の1を補助)

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業	概要	事業費
ランドオペレーションセンターの拠点整備	オフィス事務所の設営費	4,000
専用ホームページの制作費	観光情報の発信や旅商品のネット販売、大山王国ファン倶楽部会員への定期的観光情報提供(メルマガ配信)等を行う。 ・大山王国ファン倶楽部会員 約3,000人	2,000
各観光施設等情報ネットワークシステムの構築	各観光案内所及び観光施設等が当地の観光情報を共有し、観光客に対してきめ細やかな最新の観光情報を提供できるネットシステムを整備する。	1,000
「大山を知る会」の開催	従来の県民対象から県外観光客向けの旅行商品として催行。(県主催事業の発展的移管) ・年10回程度	1,050
観光エコガイド養成	観光資源価値の解説が出来るガイドを養成して、付加価値のある旅行プログラムの開発を行う。 ・養成人員5人 ・先進地での体験研修等	1,250
レンタサイクル事業	自転車を利用した観光コースやプログラムを整備し、米子市街地での街並み再発見等による観光化を促進。 ・自転車10台整備	500
計		9,800

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9647）

1目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中海圏域観光推進事業	5,452	1,337	4,115				5,452	

事業内容の説明

1 事業の概要

大山・中海・宍道湖圏域をひとつの観光圏域として捉え、鳥取・島根両県の行政と民間が連携して、広域観光ネットワークを構築し、圏域への一層の誘客を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名	内 容	所要額
中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会支援事業	<p>中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会が実施する広域観光連携事業に対し助成する。</p> <p>・補助率1/3（上限額5,000千円）</p> <p>【中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会の概要】</p> <p>設 立：平成17年6月14日</p> <p>構成団体：44団体</p> <p>商工会議所（米子・境港・松江・安来）</p> <p>商工会、観光協会、市町村等</p> <p>鳥取・島根両県はオブザーバーとして参画</p> <p>事業費：19,530千円</p> <p>主な事業：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中海遊覧船の実験運航（30日間 10月運行予定） ・観光ポータルサイトの構築、運営 ・体験型観光メニューの開発 ・健康をテーマに滞留型観光メニューの開発 	5,000
情報交換会等の開催・参加	<p>観光情報を共有し、観光客に対するサービスの向上を図るため、大山・中海圏域の観光案内所職員等を対象に情報交換会を開催する。（年4回）</p> <p>圏域の歴史資源等の活用に関する検討会等に参加する。</p>	452

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光課（内線：7421）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 心に残る映画ロケ 協働推進事業	1,338	0	1,338				1,338	

事業内容の説明

1 事業の概要

NPO法人とっとりフィルムコミッションと県が協働しながら、映画関係者との意見交換等を通して映画やテレビドラマのロケを積極的に誘致するとともに、これらロケ地を新たな観光資源として活用することにより本県のイメージアップと観光客誘致を図る。

2 平成18年度事業費 1,338千円

(1) 補助金 457千円(上限)

- ・補助事業者：NPO法人とっとりフィルムコミッション
- ・補助対象経費：映画監督、脚本家等の映画関係者招致等の経費

(2) 県事務経費 881千円

〔参考：NPO法人とっとりフィルムコミッションの概要〕

- 1 設立年月日 平成17年4月1日(代表 清水増夫)
- 2 会員等 会員 55人、27団体(H17.10末現在)
顧問 西河克己氏(映画監督)、小谷承靖氏(映画監督)
- 3 活動事業 映画、TV、CM、写真等のロケーション支援
映画祭、自主上映会の開催
映画関係者との交流 等

平成18年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光課（内線：7238）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) とっとりの風情フォーラム事業	951	0	951				951	

事業内容の説明

1 事業の概要

市町村との協働により、県内各地に残る昔ながらの風情や景観のすばらしさを魅力ある観光資源として活用すべく活動している自治体・団体の取組みや先進地域の活動を県民に紹介するフォーラムを実施し、地元の魅力の再認識や活動の機運を醸成するとともに、課題の解決や先進地域などの地域間交流を促進する。

2 平成18年度事業費

951千円

フォーラムの開催

開催会場：県内2会場

フォーラムの内容

- ア 先進地事例の発表
- イ 地元の観光資源と活用状況の現状と課題発表
- ウ 先進地の講師と地元や同様の課題を抱える参加者との交流
- エ 現地視察

フォーラムのテーマ案

- ・「みなとまちの風情」・・・候補地：岩美町田後、琴浦町菊港 など
- ・「渚の風情」・・・候補地：米子市皆生海岸、鳥取市 など
- ・「里山の風情」・・・候補地：若桜町、日南町 など
- ・「城下町の風情」・・・候補地：鳥取市、米子市 など
- ・「鏝絵（こてえ）の風情」・・・候補地：琴浦町光（みつ）地区 など

などの中から2テーマを選定して実施